

紀南高等学校コミュニティ・スクールの取組

紀南高校とは……

- ◆昭和37年設立、全日制普通科（9学級 生徒数340人）
- ◆南牟婁郡御浜町（三重県の最南部に位置し、かんきつ類の栽培が盛んな町）
- ◆南牟婁郡と熊野市出身の生徒が大半、地域に密着した高校
- ◆平成12年度からインターンシップを導入、地元事業所と連携
- ◆卒業生の2～3割は地元に残り、地域を支える人材として活躍、同窓会活動も活発

- 地域からの信頼の薄れ
- 過疎化や少子化等で募集定員割れ、学校の存続が問われる状況

<コミュニティ・スクール導入>

■平成17～18年度 文部科学省のコミュニティ・スクール研究指定事業

2年間、保護者や地域住民等が「今後の紀南高校のあり方」を議論

■平成19年度 コミュニティ・スクールの指定

■平成20年度～ 具体的な取組を本格化

<取組体制>

学校運営協議会（年6回開催）

学校評価

<地域連携部会>

- ボランティア活動等の推進

<進路支援部会>

- キャリア教育の推進

<企画広報部会>

- 地域への広報活動

具体的な取組内容

<地域との教育連携>

- 教育ボランティア（教育ボランティアが英語や数学の授業をサポート）
3年間で計7名
- 聴講生（聴講生として授業に参加）3年間でのべ10名
- 地域の食文化の継承（御浜町食生活改善推進協議会との連携授業）
- 小中学校の授業サポート（英語、音楽等）

<キャリア教育>

- インターンシップ（2年次6単位）
- 小中高の系統的なキャリア教育実践研究（キャリア発達支援プログラムの作成）
- 対話集会（1年次に同窓生、保護者、地域住民との対話）

<教育力の向上・学校評価等>

- 授業公開と研究事業（年間3回の授業公開、各教科の研究授業）
- 学校関係者評価の考え方を導入（年2回）

成 果

- ◆ 授業に地域住民が参加して、生徒の授業に取り組む姿勢が向上
- ◆ 地域住民、保護者による学校行事等への参画の機会が増加
- ◆ 地域行事への生徒の参加が増加
- ◆ 生活・学習両面で、生徒の姿が良くなったとの評価
- ◆ 地元の小・中学校との交流が活発化
- ◆ 生徒の学習環境が改善
- ◆ 保護者や地域の意見、要望を把握する取組が進展
- ◆ 地域に密着した広報活動
- ◆ 母校を誇りに思う心を育成
- ◆ 学校がモラル、コンプライアンス、アカウンタビリティを意識